

ぐじょうとうし

こきんでんじゅ

郡上東氏800年 古今伝授550年祭

創作オペレッタ

東氏ものがたり

2023.11.11 SAT



この事業は令和5年に岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を受けています 郡上市

郡上東氏の歴史や文化を地域振興に活かそうと、次世代を担う子どもたちを主役にした事業に取り組んでいます。

鎌倉時代から室町時代のおわりにかけて郡上市大和町を中心とした一帯を治めた領主一族・郡上東氏。承久の乱（1221年）の戦功で当地を与えられてから800年、郡上東氏9代東常縁が宗祇へ古今伝授（1471年）をしてから550年という節目が重なった2021年より、「郡上東氏800年・古今伝授550年祭」を継続して実施しています。

郡上東氏ゆかりの短歌に親しんでもらおう

市内の小中学校の希望校で、短歌の作り方を学ぶ教室と、作った短歌を声に出して表現してみる教室を開催しています。3年目となる今年は、市内の11校で実施しており、参加した児童からは、「短歌をうたうことで情景をより鮮明に思い浮かべることができると実感した」などの感想がありました。

7月27日には、夏休みの小学生を対象にした短歌教室（主催・大和地域公民館）も実施しまし

た。短歌づくりは、日本の伝統文化に触れるだけでなく、自己表現力を高め、SNSが普及する社会で、自分らしく生きるための基礎力を養うことにつながります。

創作オペレッタ「東氏ものがたり」の制作

郡上東氏9代東常縁をモデルにした、創作オペレッタ「東氏ものがたり」を制作しており、いよいよ今秋、上演です。



オペレッタとは？

オペレッタとは音楽劇のことです。今回のオペレッタでも、セリフに加えて、合唱、独唱、和歌の披露（和歌を声に出して詠むこと）などがあります。また、通常のオペレッタにはミュージカルのような踊りはほとんどありませんが、今回は大勢で活気に満ちた踊りを披露する場面があります。

オペレッタの出演者

オペレッタの出演者は、大和地域の4つの小学校の5・6年生のみなさんです。

練習は昨年9月からスタートしました。郡上東氏の歴史を学ぶことから始まり、オペレッタの作曲家や映像制作者の思いを聞くことや衣装の試着を体験しました。また、プロの演劇集団「文学座」の富沢亜古さん（俳優）から、4回にわたって表現の指導を受けました。

今年2月には、メインキャスト

トのオーディションがあり、配役が決まりました。メインキャストは、劇団「ともじび」主宰・三嶋友美さんの指導を受け、演技に磨きをかけています。他の役には、語り、武将、侍女、百姓などがあります。セリフの多い少ないに関わらず、誰か一人欠けても成り立たない、大切な役どころです。また、合唱隊も、歌によって場面の雰囲気を作り出し、観客に臨場感を与える重要な役割です。

普段は各学校で練習を積み重ねている5・6年生のみなさんも、7月からは、4校合同練習が始まり、本番と同じ会場に集い、練習を重ねています。本番に向け、練習もいよいよ佳境です。

上演は今年の11月

オール郡上で、多くのボランティアのみなさんの力を結集して制作した創作オペレッタは、今年11月に上演します。

一般向けの公演は、11月11日（土）です。観覧は無料、事前

申込制、全席指定です。入場券が必要ですので、観覧を希望される場合は、申し込みください。

創作オペレッタ

「東氏ものがたり」のあらすじ

慈照寺銀閣で有名な、室町幕府8代将軍・足利義政の頃のお話です。東常縁は、室町幕府の奉公衆（いわば将軍の親衛隊）として京都で暮らし、仕事の傍ら、休みの日には友人たちと和歌に精進していました。しかし、穏やかな生活は長く続きません。関東で「享徳の乱」という大きな戦が起き、常縁に陣命令が出されます。戦はなかなか勝敗が着かず、常縁は戦地を離れられません。そここうしている間に、「応仁・文明の乱」が起き、郡上の領地が攻められます。攻めてきた相手は、かつての友・斎藤妙椿でした。それを聞いた常縁は…。（続きは舞台でお楽しみください）



創作オペレッタの 脚本に込めた願い

今回の脚本は完全に新作です。常縁が活躍した同じ時代の史料ではなく、後の時代に書かれた史料を元にしていきます。オペレッタの内容は、史実ではなく創作としてお楽しみください。

脚本を書くうえで、大切にしたいのは、和歌の力、言葉の力です。和歌の教科書『古今和歌集』の序文には、和歌は神々や鬼の心を動かし、戦に明け暮れる武士の心を和らげるものだと書かれています。創作オペレッタでも、登場人物たちは、言葉の力を信じ、和歌を詠み合える平和な世を築こうとします。現代社会だからこそ、言葉の力を再確認してもらえればと願っています。

友達みんなと協力してオペレッタを成功へ

常縁役 大和北小学校6年生 かわしま いちか 河島 唯愛さん

本番まであと4か月となりました。頑張っただけで覚えたセリフも歌う時は声が出しにくく詰まることが……。そんな時は友達と大きな声で話して練習しています。また、セリフはただ話すだけではなく、今後は抑揚をつけ、感情を込めることにも取り組みたいです。

練習は大変ですが、友達みんなと協力しながら楽しく頑張っています。みんなと作り上げたオペレッタをぜひ見に来てください。



(取材：7月28日)

オペレッタに託す願い

創作オペレッタ実行委員会 委員長 かねこ りこ 金古のり子さん

今回、オペレッタの練習を始めるにあたって、4つの小学校の児童のみなさんは、郡上東氏の歴史や、これを生かした現代のまちづくりについて学びました。郡上東氏の歴史や文化を学び、その今日的な意味を深く理解することは、香り高い文化のふるさとづくりを力強く進めていく原動力になります。また、児童にとっても、ふるさとへの愛情と誇りを高めることにつながります。

来年4月には、大和地域の4つの小学校が統合し、新しい小学校としての第一歩を踏み出します。オペレッタの練習を通じて、児童、保護者、地域のみなさんが、心を一つにして同じ目標に向かい、交流を深めたうえで、新小学校での生活を迎えることができると願っています。

今回のオペレッタは、演出・三嶋友美さん、楽曲・渡邊なつ実さん、映像・三浦優樹さん、音響と照明・えのもと としかず榎本敏一さんをはじめ、脚本、衣装、広報素材も含めて、すべてが市民のみなさんの手によります。地域の歴史上の人物をテーマにした創作劇は、全国各地にあります。すべて地元市民で担う劇はありません。何より、大和地域の4つの小学校のみなさんが、前向きに、一生懸命に取り組んでいます。熱い思いが結集した舞台を、ぜひご観覧ください。

